

はじめに

本市では、ボートレース事業の収益に支えられた諸施策の推進と組織の肥大化が財政状況の悪化を招いたとの反省に立ち、これまで市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、職員一丸となって行財政改革を推進してきました。

しかしながら、基金からの繰入金による財源補てんに頼りつつ財政運営を行う状況が続いており、また、人口減少と少子高齢化の進展に加え、コロナ禍の影響で市民生活や経済も厳しい状況下にあり、本市をめぐる財政情勢は依然として厳しい状況にあります。

このような中、今後も将来負担に配慮した財政の健全性を維持しながら、人や企業に選ばれる活力と魅力のあるまちづくりを進めるためには、行財政改革の一層の推進が必要です。

本計画には、現時点で取り組まなければならない項目を列挙しましたが、本市を取り巻く環境は日々刻々と変化しており、その変化に速やかに対応し、本計画を着実に実行していくためには、限りある財源及び人財を最大限に有効活用した行財政運営と職員の意識改革が求められます。

また、市の総合力を高め、第七次総合計画に掲げる将来都市像を実現するためには、行政内部の改革だけではなく、行財政改革と本市経済の活性化を両輪と捉え、企業誘致や移住・定住の促進、交流人口・関係人口の拡大など、人口減少時代に対応した地域活性化施策が必要不可欠です。

さらに、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保を目指し、安心して子育てできる環境づくりを支援する「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、安心して子育てできる環境づくりを推進するとともに、若年層や子育て世帯の流出を抑制していかなければなりません。

こうした状況の中、鳴門市にとってこれからの数年間の取組が、鳴門市の未来を決めるとの認識に立ち、行財政改革を推進し、健全な財政運営を堅持するとともに、新庁舎建設を契機としてデジタル技術等を活用した行政サービスの充実など「新たな価値」を創出する施策を積極的に推進しますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

鳴門市長 泉 理彦